



※  は市旗です。市全体の話題の場合に表記しています。



新緑の風に吹かれ ウォーキング

4月29日、輝北うわば公園で「輝北・グリーンハイキング」が開催されました。

このハイキングは、桜島、輝北天球館を望む輝北うわば公園の景色を満喫してもらおうと、毎年行われているもので、市内外から154人が参加。

参加者は雄大な景色に時折歓声をあげながらウォーキングを楽しんでいました。



「人権」の心を育てる

4月30日、「人権の花運動」の開校式が鶴峰小学校で行われました。人権の花運動とは人権の花「ひまわり」を育てながら、いじめや人権についてみんなで一緒に考え、優しい心や思いやる心を育てていくものです。

開校式では、前年度の祓川小学校から引き継がれた「ひまわり」の種や人権の花の標語が記されたプレートが贈呈されました。



踏み台45台を寄贈

4月10日、市役所で「在宅高齢者用踏み台贈呈式」が行われ、鹿屋建具木工組合から市に踏み台45台が寄贈されました。

これは、平成13年度から同組合が足腰の弱い高齢者に、玄関や台所などでの転倒防止に役立ててもらおうと、4月10日の建具の日に合わせて毎年行っており、これまで552台の踏み台が寄贈されています。



緑のカーテン 市内全小・中学校に贈呈

5月9日、鹿屋ライオンズクラブが市内の全小・中学校に、ニガウリ・ルコウソウの苗などを贈呈しました。これは、地球温暖化防止対策に役立てて欲しいと、小学校では4年目、中学校では初めて実施されました。

同クラブの中西会長は「夏に向けてきれいなグリーンカーテンを作って、環境保全に取り組んで欲しい」と話してくれました。



図書の充実のために 20万円分の本を寄贈

5月1日、鹿屋七日会から鹿屋市に20万円分の本が寄贈されました。

これは、立元明光名誉会長の寄附を基に同会が「市立図書館の図書の充実」に役立てて欲しいと寄贈したものです。

嶋田市長は「子どもの図書の充実や、市民の読書活動のために有効に使わせていただきます」と謝辞を述べました。



かのやばら祭り、エアメ モの記念切手を発売

5月1日、記念切手発売にあわせて日本郵便の関係者が市役所を表敬訪問しました。

この切手は「かのやばら祭り2013春」と「エアーメモリアル inかのや2013」の開催を記念して発売されたもので、2種類のフレーム切手を同時に発売するのは九州で2例目。

切手は7月25日まで鹿屋市内の各郵便局で販売されます。